

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人いのちを守る atプロジェクト JAPAN
 代表者・役職名 氏名.....代表理事.....高貝 正芳.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

いのちを守る防災 CAMP 「体験型地域防災ワークショップ」 活動地域 : 東京都

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

私たちは、災害時において、そして、日常においても「いのちを守る事」の大切さ、重要性を、また、いのちを守るための具体的な術(すべ)、方法に関する啓蒙、教育事業を目的としています。
 団体を2012年8月に設立、2014年8月1日に法人格を取得いたしました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

【背景】大災害、30年以内に70%の確率で発生すると予測される「首都直下地震」多くの人が、十分に準備が出来ていない。なぜか?何をしようのか?お金がかかる。情報が溢れすぎている。被災体験がない。
【目的】地域特性に即した**体験型地域防災ワークショップ**に参加することで防災ミニ体験を積む事が不可欠です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

■ **防災クッキング ～巨大地震発災直後の食! 防災備蓄食の調理と試食を自身でやってみる。～**
 ①防災3ポイントレッスン 3つのバランス「知識、体験、物資」&3つのW「What、When、Where」
 ②防災備蓄食の調理(火不要の加熱セットを使用)&試食、協力して全員が自らの手で調理、試食を実践する。
 ③防災いのちを守る@必須3アイテム(ホットパック、サバイバルシートGS、非常用トイレ凝固剤)を使ってみる。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

【計画】 120分×30組(親1名+子供1名)×10回=年間合計 600人
【結果】 120分×平均20組(平均2.5名)×10回=年間合計 500人
 ① 期間 2017年8月1日～2018年7月末 ② 達成率参加者数の達成率 83%
 ② 多くの方々にそれぞれの地域に根差した防災上の具体的課題の可視化、啓蒙啓発活動を展開できた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

①参加者の皆様へとくプロジェクトの告知をさらに工夫する必要がある。
 ② 行政、学校、地域諸団体との連携強化
 ③ 地域に根差した防災上の課題の可視化と平易な伝達方法の確立
 ④ 事業の継続にプロジェクト知名度の向上、

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。 **参考資料あり**・特になし

いのちを守る防災CAMP 体験型地域防災



ワークショップ

災害から自分の身を守るためにはどうしたらいい？
避難所で過ごすとなるとどんな備えが必要？
災害が起きた時に自分にできることってある？

いろいろ考えてみるけど、経験したことないからわからない・・・

そんな、私たちのために、新しい形の

「地域向け防災ワークショップ」を開催しませんか？



地域の防災リーダーを
目指そう！

防災アイテムに
ふれよう！

例 防災備蓄食を食べてみよう

防災サバイバル
体験聞いて感じる

被災体験に学ぶ

新しいお友達との
出会い

グループワークで話そう！

防災リーダー
の資格を取得！

通常5,000円の検定試験です

【募集団体数 先着10組様】

講師費用 無料

定員 20名～100名／1回のセミナー

※会場費、音響設備、消耗品等は、含んでおりません。）

※内容ご相談もお問い合わせください。

実施対象地域：都内23区内の各町村

実施時期：2017年9月～2018年6月末日

対象：私たちの街の防災に興味があるみな様

持物：筆記用具、東京防災、等

2017年度 真如苑助成事業



防災CAMP 開催風景

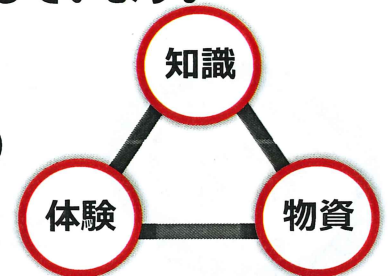
(一社) いのちを守る@プロジェクトJAPANについて

IMPJは、内閣府政策統括（防災担当）の後援を受け

防災啓蒙啓発プロジェクト「いのちを守る防災CAMP」を全国で実施しています。今回は、このシリーズとして、「いのちを守る防災CAMP 体験型ワークショップ」を実施します。私たちの街で大地震が発生した時、大切な自身の「いのちを守る力」「生きぬく力」を身につける体験型セミナーを目指しています。

【事業活動】

- ◆体験型防災セミナー実施（児童、ママ、学校、企業向け）
- ◆いのちを守る防災CAMP、東京防災学習セミナー受託等



いのちを守る体験型ワークショップ実施内容（各コース90分）

各地域向け防災 3ポイントコース

私たちの住んでいる街、大災害が発生したら！
知っているようで知らないことをしっかりと学び自分と大切な人を守る具体的な知識と意識を身につけます。

防災サバイバル 体験コース

まずチームを作り、防災カレー、防災パンなどをみんなで調理して食べます。そして簡易トイレや簡易寝袋などの防災アイテムにも触れます。また、食材調達やロープワークなどいざというときに役立つ体験をしていきます。どのような備蓄品や知識が必要なのかを知ることができます。

防災 ゲーミフィケーション コース

チームで「防災リスク・サーベイゲーム」シミュレーションを行います。ゲームを通じて「その時」を体験し、グループ内のコミュニケーションを通じ、自身のいのちを守るすべを習得していきます。

コース共通 IMPJ防災検定試験

体験型ワークショップを通じて、気づき、学んだ、自らの大切ないのちを守る事の大切さ、難しさ、そして、具体的ないのちを守る方法について、「IMPJ防災リーダー検定試験」を実施します。

認定資格「IMPJ防災リーダー検定」の資格を取得できます。

【お問合せ・お申込】

いのちを守る@プロジェクトJAPAN

Mail : info@imp-japan.org

TEL : 03-6807-8656

〒114-0012 東京都北区田端新町1-20-1-602

※本事業は、真如苑助成事業です。

IMPJ地域防災ワークショップ 専用HP

<http://imp-japan.org>

監修 高貝 正芳 IMPJ代表

協力 有限会社 魔法招会

後援 社会福祉法人 北区社会福祉協議会

